

【研究概要】

免疫チェックポイント阻害剤を使用する肝がん症例の治療前後で診療時の通常採血の際に追加採血(10mL/回、計6回)施行、採取検体から網羅的に腫瘍情報・免疫情報をタンパク質レベルで取得し得た情報を解析し今後の治療選択決定の指標とする。